

貸借対照表

平成30年 1月31日 現在

セーフティ&セキュリティ 株式会社

(単位：千円未満切り捨て)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	108,829	【流動負債】	25,880
現金及び預金	68,231	買掛金	5,972
売掛金	26,136	未払金	4,247
商品	10,655	未払費用	4,405
貯蔵品	10	未払法人税等	176
前払費用	2,429	未払消費税等	4,081
未収入金	243	預り金	497
未収法人税等	1,368	賞与引当金	6,500
貸倒引当金	△245	【固定負債】	58,573
【固定資産】	29,462	長期借入金	46,428
【有形固定資産】	1,783	長期未払金	2,145
車両運搬具	1,597	社債	10,000
工具器具備品	186	負債の部合計	84,453
【無形固定資産】	21,812	純 資 産 の 部	
のれん	17,354	【株主資本】	53,838
ソフトウェア	1,046	資本金	9,000
ソフトウェア仮勘定	3,411	資本剰余金	1,000
【投資その他の資産】	5,866	資本準備金	1,000
出資金	10	利益剰余金	43,838
敷金	3,304	利益準備金	940
差入保証金	2,222	その他利益剰余金	42,898
長期前払費用	201	繰越利益剰余金	42,898
預託金	128	(うち当期純利益金額)	336
		純資産の部合計	53,838
資産の部合計	138,291	負債及び純資産合計	138,291

注 記 表

セーフティ&セキュリティ 株式会社

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づいて簿価を切り下げる方法）によっております。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

車両運搬具、工具器具備品については定率法を採用しています。

(2) 無形固定資産

ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

のれん償却については、その投資効果の発現する期間（5年）に基づく定額法によっております。

引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込み額に基づき計上しております。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上しております。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。